

●城陽市緑化祭り 30 日（日）522 人の皆さんと交流、

素晴らしい秋晴れに恵まれた芝生公園に大勢の親子づれが押しかけておられました。広い広場一帯に模擬店は20テントが食べ物を並べています。対照的に西側には体験を主にした諸団体のテントが前後二列に並んでいます。私たちの里山の会は、中ほどに二つのテントでした。

ポスターによる活動発表ではレンリソウの抜草と保全やタヌキマメの復元、竹蛇籠の取り組みと魚とりなど4種類のポスターを張り出しました。

松かさツリーづくり体験を一つのテントで、もう一つは漣風つくりの場所にしました。最も人が集まってくるのは、松かさツリー一つくりで、10人分の場所を確保しました。それでも最盛期には10人待ちということにもなり、かなりご迷惑をおかけすることになりました。最終盤には、風つくりが終わったので、全体に広げて20人の会場に拡大して追い込みをしました。何とか終了時間に間に合わせて3時30分には完売となりました。漣風つくりと風あげは、無風でしたので一回のみの実施で、多くの方にしっかりお見せ出来なかったのが少し残念でした。頑張っていたいただいた畑中様ご苦勞様でした。

綿菓子は北列の梅工場のお隣で昨年と同じ様な場所でした。のぼりと立て看板を出して呼び込みをしますと、たちまち長蛇の列ができました。これが途切れることなく30分待ちの状況が最終盤まで連続しました。スタッフの皆さんは、お昼ご飯も食べる時間が無く、てんてこ舞いの忙しさでした。今回は受け付け体制を改良して綿菓子製造部署と受付部署に分割していたので、大きな混乱も無くなり、かなりスムーズに流れました。これまでの最高の人数を消化したのではないかと思います。スタッフの皆さんも慣れたもので、阿吽の呼吸でした。皆さん終日ご苦勞様でした。この日のための前日準備では松かさツリーの台座つくりで4人が約2時間かかり、ツリーの組立てを行いました。これも短時間の集中作業でしたが、本当によく頑張っていたいただきました。

前日準備で200個の松かさツリーの台座制作を26日の午後2時間で完成させました。このほとんどが売り切れたこととなります。最後の苦心をして、1年間、数々のイベントを実施してきました。その成果をポスターで披露したのですが、関心を持ってくれる人はほとんどなく、こうした会場では空振りに終わりました。

●薩摩芋掘り

残っていた薩摩芋を50本掘り起こしました。収穫量は25kgでした。今年の薩摩芋の収量はかなり厳しいものとなりました。植えて、つるが伸び始めたころにアライグマの襲撃があってほとんどの苗が掘り返され、それを修復したものですから、生育が大変遅れたのが影響したのではないかと思います。また粘土質の土壌なのでこれも影響したのではないかと思います。次年度にはこの教訓を活かしたいものです。

●京田辺市民文化祭

5日、6日(土・日)の両日も好天に恵まれるようです。先日の城陽緑化まつりでは来客が押し寄せてきたので、長い待ち時間となり、昼食もできないということになりました。京田辺市の場合は展示物を9パターン全部張り出します。それぞれの解説や説明がなければなかなか理解をいただけないものであります。解説者が必要になります。模擬店でも柿の販売も考えているので、試食用の柿剥き作業が決定的となります。人手がここにも必要です。そして模擬店での農産物の販売にも、そして松かさツリーづくり体験にも数人が常時必要です。そして最も人気の綿菓子づくりスタッフもかなり必要になります。二日間という長丁場となり、売り切れた商品の準備にも裏方が必要になるので、なかなか大変です。会員諸氏の積極的なご協力を切にお願いします。里山の会としては数千人の人々への働きかけができる市民文化祭は活動売込みにとって、これ以上のチャンスは年間最大のチャンスなのです。前日準備では、販売用の柿の収穫作業と選別、そして農作物の販売用の水洗、束ね作業があります。展示物では背景への工夫、そして展示ポスターの張り出し、見本棚での飾りつけ、こまごました手作業が続きます。そして屋外での綿菓子会場、野菜販売場所柿剥き場の確保、スタッフの休憩所と物置の確保、基本となる机やいすの運びこみなど終日準備に追われます。一人でもお手伝いの手がほしいのです。ご協力お願いします。

4日の集合は午前9時里山の会事務所に集合ください。5日6日は会場の模擬店にご集合ください。それぞれ昼食は準備いたします。ご連絡をいただければ大変好都合で、予定が立てられます。よろしくお願いいたします。

●日本河川協会が実施している日本水大賞委員会の応募案内

が届きましたので、応募しました。大賞や大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞、未来開拓賞、審査部会特別賞などがすぐれたものに送られます。初めて応募しました。

●日本自然保護協会が主催する平成 28 年度日本自然保護大賞にも応募しました

保護実践、教育普及、地域の活力、自然の力、子ども・学生の 5 分野があり、里山の会は保護実践部門に応募しました。二つの大賞は、相当厳しい審査のようですが、20 年も継続活動を続けてきたので、初挑戦することにしました。

●11 月の楽しい取り組み紹介

① ふれあい土木展 11・12 日 10 時~16 時 枚方市山田池北町 11-1 近畿技術事務所 参加費無料

様々な建設機並ぶ 講演会有り、 大学・高専の研究発表 建設機械の体験あり

11 日 講演「建設技術の新たなステージ」立命館大学利己学部 教授 建山和由 氏 14:00~

関西の大学、高等専門学校による技術研究をパネルで発表 参加者の投票で優秀賞を決定される

12 日 災害対策ヘリコプターの室内空間体験 よし笛づくり

② 映画で京の川を楽しむ 13 日 京都市東山区蹴上 京都市国際交流会館 13:30~16:45

上映予定は「インクライン映像（昭和 10 年頃）」「保津川・渡月橋界限（明治時代 昭和 7 年 10 年）」「無声映画 浮き草物語 小津安二郎 昭和 9 年作品 実際に活弁があります

●秋のハイキングに「八丁平」への京都府自然観察指導員主催

里山の会から 深田、播川、青代、森、芳川、有田、上島、金田さんが出席されます。次回にガイドしていただけるようしっかり学習をお願いします。期待しています。

●第 34 回京都木津川マラソン大会 出場選手申込締め切り

選手数確定 5, 861 人を受け付けました。開催日は 2017 年 2 月 5 日（日）市民マラソンとして京都府では一番古い大会となりました。自然豊かな木津川、歴史の川木津川のサイクリングコースを走ります。制限時間がないので、初心者に優しい大会で人気です。手づくりで環境マラソン（ゴミ持ち帰り）として自主的なボランティアによって運営されています。750 人の皆さんがボランティアとしてご協力いただいています。さらに皆さんのご協力をお待ちしています。登録くださいね。

●里山農園

冬野菜の植え付け完了 新芽がしっかり出てきました。種まきをしたころは天候が不順で芽が出てこないもので、まき直しを何度かしました。現在気候が落ち着きましたので、順調に大きくなり始めています。また一年がかりで里山農園のイベントで扱い、いろいろな什器を管理収納する設備の第一歩が収納庫であると、仕事の合間を縫ってコツコツと製作をいただきました。鍋や釜、ヤッカンにお椀コップは屋外にむき出しでした、大変不衛生でもあったのが、収納庫の実現で安全管理度がアップできました。安心してこれから活動が展開できます。ありがとうございました。

●今年のオオムラサキの観察会

例年より少し時期を早めて行います 12 月 17 日（土）に予定しています。昆虫好きの皆さんのお越しをお待ちしています。